

4

でんとう か
伝統や文化などの
しげん まも かつどう
地域資源を守る活動



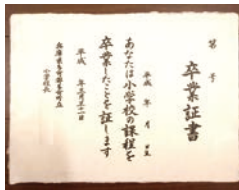
すぎはらがみ 杉原紙



伝統文化を大切に
するまちづくりについ
て話し合ってみよう。
杉原紙の歴史について
調べてみよう。
杉原紙はどのようにし
て作られるのだろう。



杉原紙でできた品物

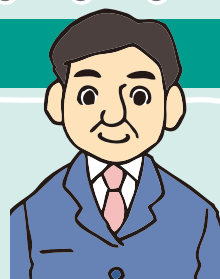


杉原紙の卒業証書

杉原紙は、今から1000年以上前につく
られはじめ、全国に広まった有名な和紙で
す。しかし、西洋紙を使うようになると、
伝統の和紙づくりはとだえてしまいました。
今から50年以上前、まちでは、昔な
がらの技法で、手すきによる和紙づくりを
復活させました。今では県の重要無形文化
財、伝統的工艺品としての杉原紙をみんな
で大切に守り続けています。

けんきゅうしょ しょちょう 杉原紙研究所の所長さんの話

杉原紙研究所で紙すきを始めてか
ら50年以上がたち、世の中もどん
どん変わっています。技術と伝統を
守りながら、新しい分野にも挑戦し
ていかなければなりません。



これからも誇りを持って杉原紙づくりを続けてい
こうと思います。まずは、町民のみなさんに、そして日
本全国、さらには世界の人々にみとめてもらえるよう
に努力をしていきます。



けんきゅうしょ
杉原紙研究所

どうこうかい 杉原紙同好会の話

わたしたちは、昭和60年から活動を始めました。みんなで一緒にいろいろな作品を作ることは、とても楽しいです。杉原紙の特徴は、きめ細やかであたたかみがあることで、たくさんの人たちに杉原紙の魅力を感じてもらいたいと思っています。「紙匠庵でんでん」では、和紙加工品を展示・販売しています。これからも魅力ある多可町の特産品の一つである名紙杉原紙の作品を、よろこびと誇りを持って作り続けていきたいです。



ねんがじょう
杉原紙年賀状全国コンクールも行われています。

自分の卒業証書を自分の手で紙をすいて作るという活動は、昭和57年度に杉原谷小学校で始まり、その後、多可町内の各小学校で長く続いており、たくさんの子が杉原紙の卒業証書を手になっています。



自分で作った世界に一つの卒業証書は、心に残るし、うれしいね。

大きくなってふるさとを離れても、この証書を見ると思い出すだろうな。



杉原紙を大切に守っていくために、わたしたちはどんなことができるでしょう。